

平成18年第4回景況調査結果について

2006年12月5日
三重県農水商工部
(財)三重県産業支援センター

調査要領

1. 調査時点：2006年11月(中旬)
2. 調査対象：県内全域の企業1,000社
3. 調査方法：FAX及びインターネットによるアンケート調査
4. 回答状況：308社(有効回答率 30.8%)
5. 調査企業の産業、従業員数、地域別(生活創造圏別)内訳

【産業別】

【従業員規模別】

	建設業	製造業	運輸・ 通信業	卸・ 小売業	金融・ 保険業	サービ ス業	合計	~29人	30~ 99人	100 人~	合計
対象企業数	87	286	64	270	23	270	1,000	526	223	251	1,000
回答企業数	36	95	23	66	17	71	308	130	74	104	308
構成比(%)	11.7	30.8	7.5	21.4	5.5	23.1	100.0	42.2	24.0	33.8	100.0

【生活創造圏別】

	桑名・員弁	四日市	鈴鹿・亀山	津・久居	松阪・紀勢	伊勢志摩	伊賀	尾鷲	熊野	合計
対象企業数	111	222	119	154	121	126	90	30	27	1,000
回答企業数	29	75	32	45	43	37	30	11	6	308
構成比(%)	9.4	24.4	10.4	14.6	14.0	12.0	9.7	3.6	1.9	100.0

(注) 構成比等(%)については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

- (注) 桑名・員弁生活創造圏(桑名市・いなべ市・木曾岬町・東員町)
 四日市生活創造圏(四日市市・菰野町・朝日町・川越町)
 鈴鹿・亀山生活創造圏(鈴鹿市・亀山市)
 津・久居生活創造圏(津市)
 松阪・紀勢生活創造圏(松阪市・多気町・明和町・大台町・大紀町)
 伊勢志摩生活創造圏(伊勢市・鳥羽市・志摩市・玉城町・南伊勢町・度会町)
 伊賀生活創造圏(伊賀市・名張市)
 尾鷲生活創造圏(尾鷲市・紀北町)
 熊野生活創造圏(熊野市・御浜町・紀宝町)

平成18年11月30日現在

II 概要 (主な調査項目のDI値の推移)

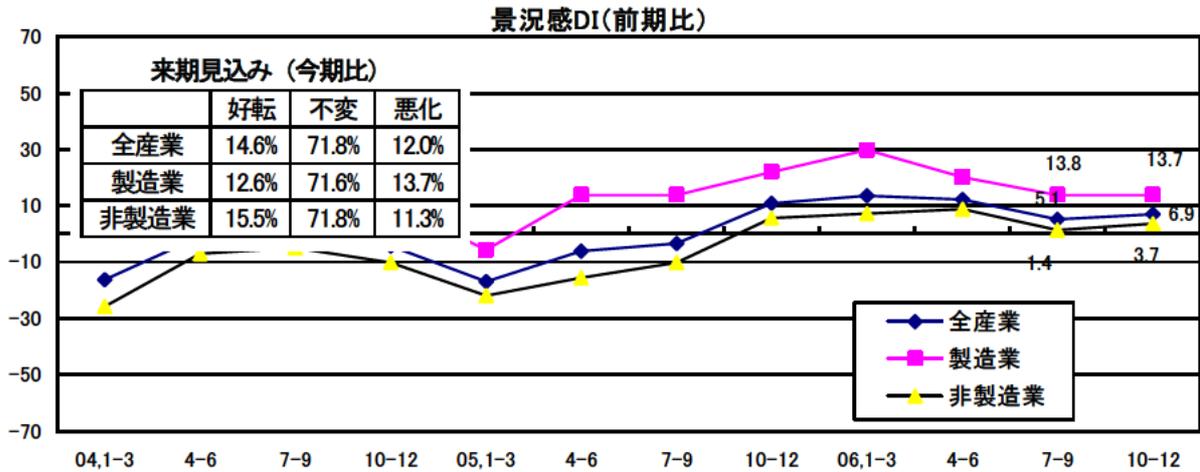
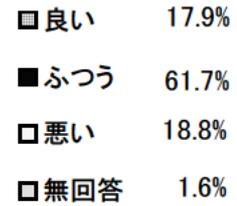
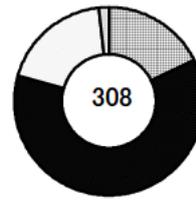
(1) 景況感

今期の県内景気は「良い」17.9%、「ふつう」61.7%、「悪い」18.8%となっております。

景況感DI (前期比) は全産業でプラス6.9ポイントと前回より1.8ポイント改善しました。

また、来期の見込み (今期比) は、製造業で「悪化」が「好転」を上回り、非製造業では「好転」が「悪化」を上回りました。

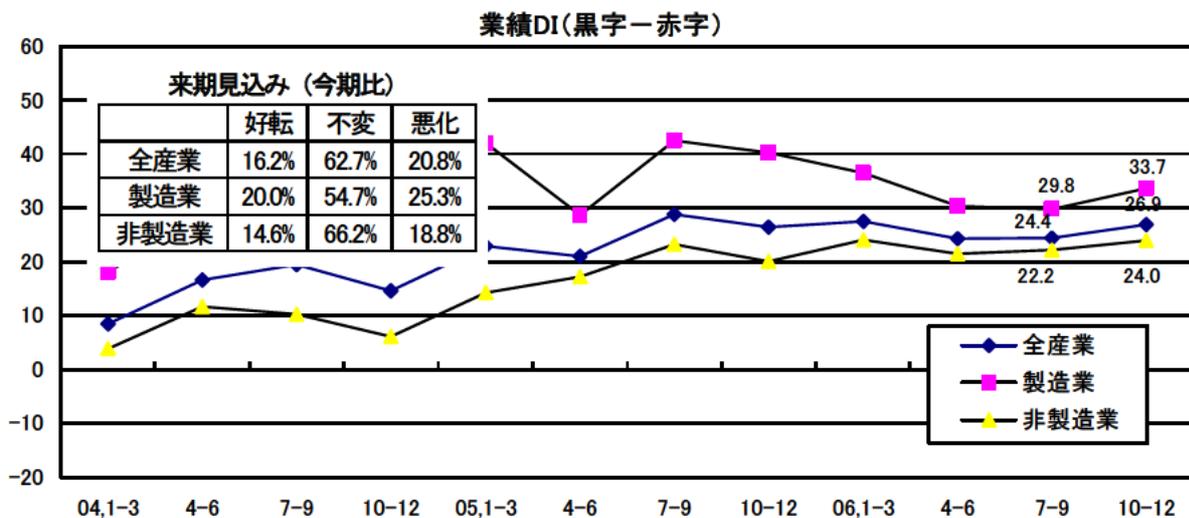
今期の景況感



景況感DI = 前期比で「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた値

(2) 業績

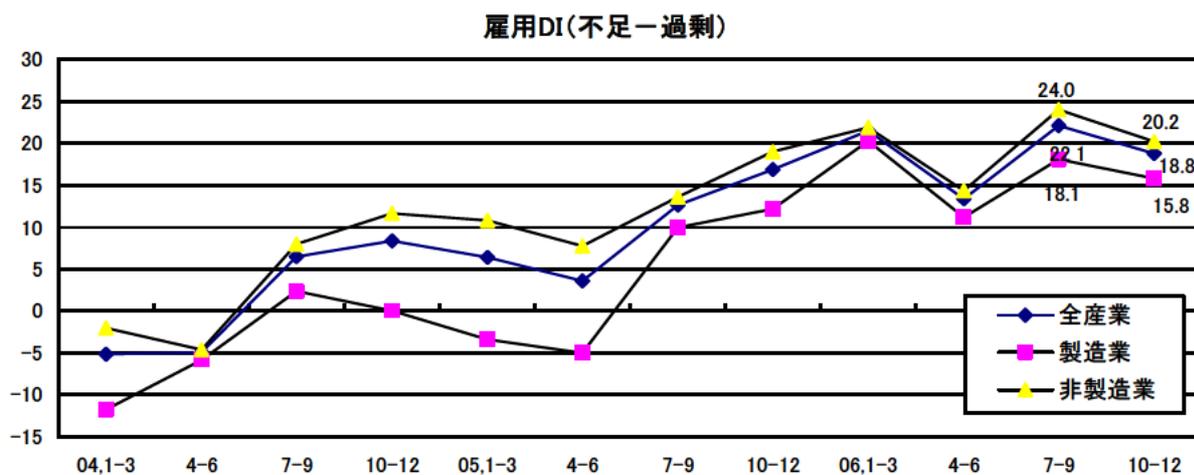
今期の業績DI (利益状況) は全産業でプラス26.9ポイントと前回より2.5ポイント改善し、「黒字」とする企業の割合が「赤字」とする企業の割合を2003年1-3月の調査から引き続き上回っております。来期の見込み (今期比) は、全産業で「悪化」が「好転」を4.6ポイント上回りました。



業績DI = 今期の水準について「黒字」とする企業の割合から「赤字」とする企業の割合を引いた値

(3) 雇用

雇用DIは全産業でプラス18.8ポイントと前回より3.3ポイント悪化したものの、雇用状態が「不足」とする企業の割合は「過剰」とする企業の割合を10期連続で上回っております。



雇用DI = 今期の水準について「不足」とする企業の割合から「過剰」とする企業の割合を引いた値

(4) 要約

今期の県内企業の景況は、景況感DIは5期連続でプラスを維持しました。業績DIは前回を上回り、引き続き高い水準にあります。雇用DIはわずかに悪化しましたが依然、「不足」が「過剰」を上回っています。業績の回復を反映して冬季ボーナスの支給見込みは、昨年冬季比で「増加」する企業が「減少」を上回りました。また、ゼロ金利解除の影響から、4割超の企業で前期より借入金利が上昇しました。

(5) 産業別

全産業 (回答308社)

景況感・業績は改善し、プラスを維持。

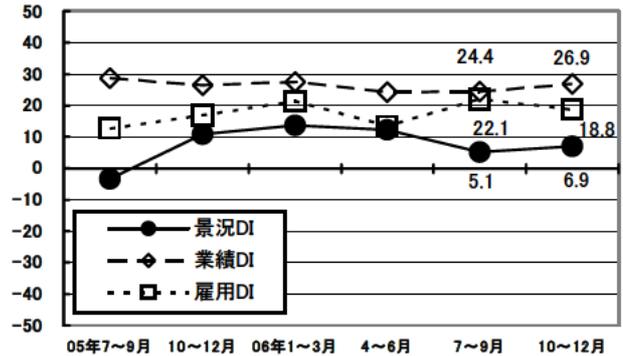
雇用はわずかに悪化するも不足状態が続く。

景況感DI (前期比) は、全産業でプラス6.9ポイントとなり、前回より1.8ポイント改善しました。

また、業績DIはプラス26.9ポイントとなり、前回より2.5ポイント改善しました。

雇用DIはプラス18.8ポイントとなり、前回より3.3ポイント悪化しました。

全産業の主要DI 推移



建設業 (回答36社)

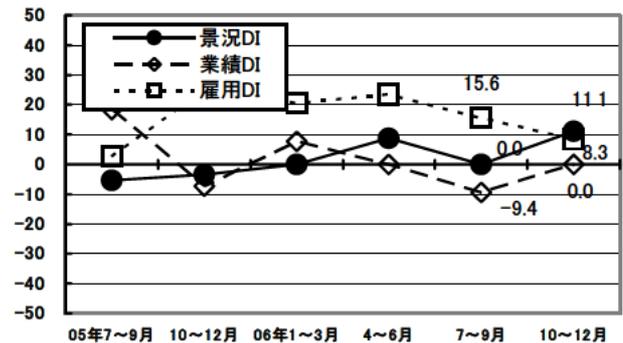
景況感・業績は改善。

雇用は悪化するが、不足状態は続く。

景況感DI (前期比) は、建設業でプラス11.1ポイントとなり、前回より11.1ポイント改善しました。

また、業績DIは0.0ポイントとなり、前回より9.4ポイント改善しました。

雇用DIはプラス8.3ポイントとなり、前回より7.3ポイント悪化しました。



製造業 (回答95社)

景況感、業績はほぼ横ばい状態。

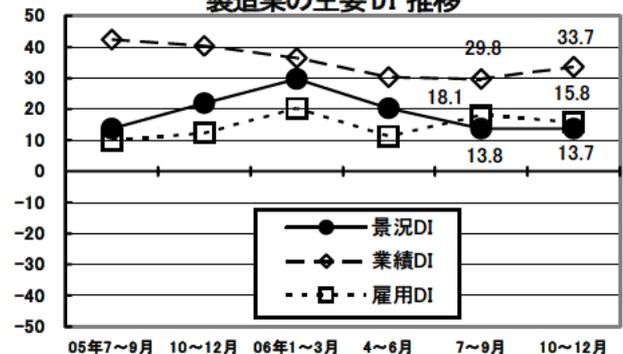
雇用は不足状態続く。

景況感DI (前期比) は、製造業でプラス13.7ポイントとなり、前回より0.1ポイント悪化しました。

また、業績DIはプラス33.7ポイントとなり、前回より3.9ポイント改善しました。

雇用DIはプラス15.8ポイントとなり、前回より2.3ポイント悪化しました。

製造業の主要DI 推移



運輸・通信業 (回答23社)

景況感は悪化。業績は横ばい状態。

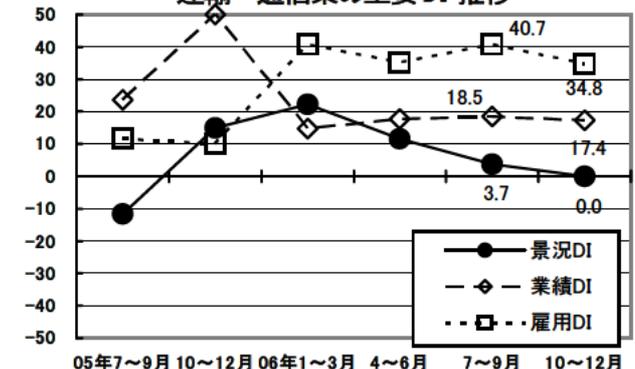
雇用は悪化するも、不足状態が続く。

景況感DI (前期比) は、運輸・通信業でプラス0.0ポイントとなり、前回より3.7ポイント悪化しました。

また、業績DIはプラス17.4ポイントとなり、前回より1.1ポイント悪化しました。

雇用DIはプラス34.8ポイントとなり、前回より5.9ポイント悪化しました。

運輸・通信業の主要DI 推移



卸・小売業 (回答66社)

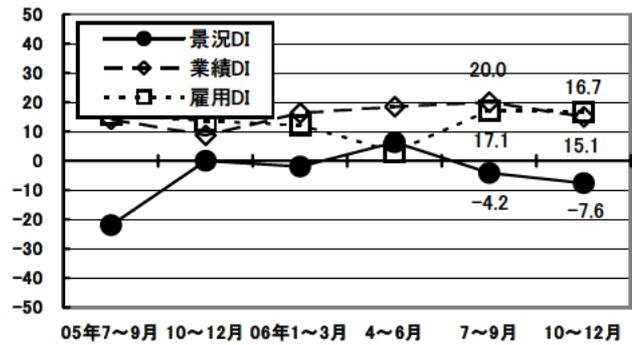
景況感は悪化が続く。業績・雇用も悪化するがプラスを維持。

景況感DI (前期比) は、卸・小売業でマイナス7.6ポイントとなり、前回より3.4ポイント悪化しました。

また、業績DIはプラス15.1ポイントとなり、前回より4.9ポイント悪化しました。

雇用DIはプラス16.7ポイントとなり、前回より0.4ポイント悪化しました。

卸・小売業の主要DI 推移



金融・保険業 (回答17社)

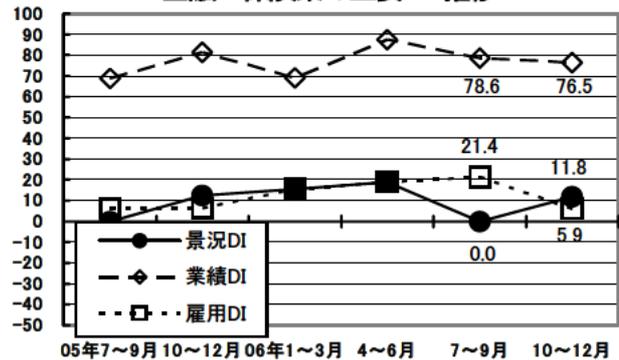
景況感は改善。業績は横ばい。
雇用は不足感が改善される。

景況感DI (前期比) は、金融・保険業でプラス11.8ポイントとなり、前回より11.8ポイント改善しました。

また、業績DIはプラス76.5ポイントとなり、前回より2.1ポイント悪化しました。

雇用DIはプラス5.9ポイントとなり、不足感が緩和されています。

金融・保険業の主要DI 推移



サービス業 (回答71社)

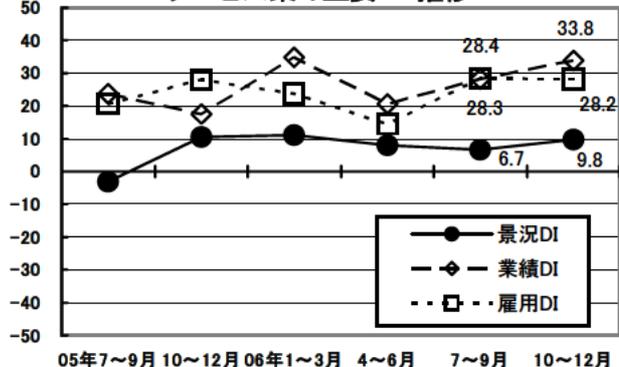
景況感は横ばい、プラスを維持。業績、雇用はプラス。高い水準を維持する。

景況感DI (前期比) は、サービス業でプラス9.8ポイントとなり、前回より3.1ポイント改善しました。

また、業績DIはプラス33.8ポイントとなり、前回より5.5ポイント改善しました。

雇用DIはプラス28.2ポイントとなり、前回より0.2ポイント悪化しました。

サービス業の主要DI 推移



景況感DI = 前期比で「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた値

業績DI = 今期の水準について「黒字」とする企業の割合から「赤字」とする企業の割合を引いた値

雇用DI = 今期の水準について「不足」とする企業の割合から「過剰」とする企業の割合を引いた値

※ 前期=2006年7~9月 今期=2006年10~12月 来期=2007年1~3月

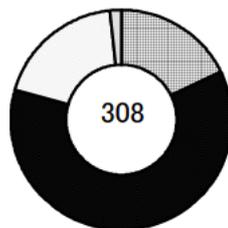
III 生活創造圏別の主要DI

	桑名・員弁	四日市	鈴鹿・亀山	津・久居	松阪・紀勢	伊勢志摩	伊賀	尾鷲	熊野	全体
今期景況感DI	0.0	21.4	25.0	2.2	4.7	5.4	-10.0	-18.2	-50.0	6.9
前期	3.2	17.2	10.3	9.5	0.0	3.0	-7.7	-23.1	-37.5	5.1
今期業績DI	44.8	36.0	50.0	24.4	23.2	24.3	-3.3	0.0	-33.3	26.9
前期	32.3	29.9	44.8	38.1	30.9	9.1	7.7	-38.5	-25.0	24.4
今期雇用DI	31.0	21.3	21.8	22.2	9.3	32.4	10.0	0.0	-50.0	18.8
前期	22.6	26.5	41.4	23.8	23.8	27.3	-7.7	-7.7	12.5	22.1

IV全調査項目の結果詳細

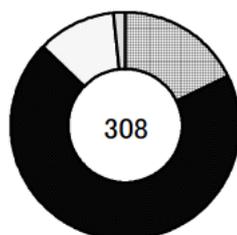
1. 景気

(1) 今期の県内景気については、「良い」17.9%(55社)、「ふつう」61.7%(190社)、「悪い」18.8%(58社)となっています。



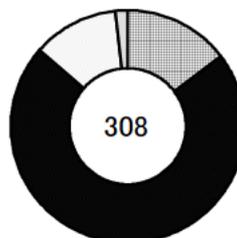
■ 良い	17.9%
■ ふつう	61.7%
□ 悪い	18.8%
□ 無回答	1.6%

(2) 前期と比べた今期の県内景気については、「好転」17.9%(55社)、「不変」69.5%(214社)、「悪化」11.0%(34社)となっています。



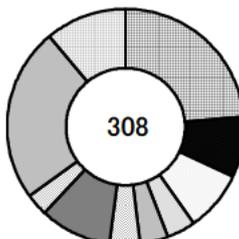
□ 好転	17.9%
■ 不変	69.5%
□ 悪化	11.0%
□ 無回答	1.6%

(3) 今期と比べた来期の県内景気については、「好転」14.6%(45社)、「不変」71.8%(221社)、「悪化」12.0%(37社)となっています。



□ 好転	14.6%
■ 不変	71.8%
□ 悪化	12.0%
□ 無回答	1.6%

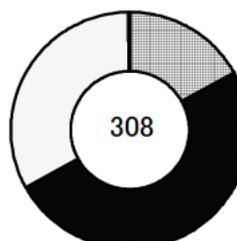
(4) 国内景気の回復時期については、「2007年10月以降」が24.0%(74社)でもっとも多く、次いで「2005年12月以前」が23.7%(73社)、「2007年4～6月」が9.7%(30社)の順となっています。



□ 2005年12月以前	23.7%
■ 2006年1～3月	8.1%
□ 2006年4～6月	8.4%
□ 2006年7～9月	3.9%
□ 2006年10～12月	3.9%
□ 2007年1～3月	4.2%
■ 2007年4～6月	9.7%
□ 2007年7～9月	2.9%
□ 2007年10月以降	24.0%
□ 無回答	11.0%

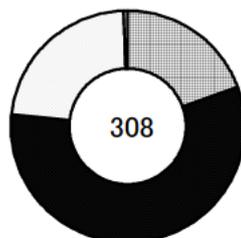
2. 業況

(1) 今期の業況については、「良い」16.9%(52社)、「ふつう」50.0%(154社)、「悪い」32.8%(101社)となっています。



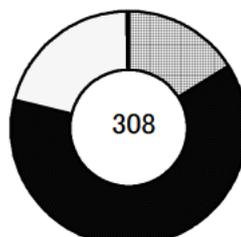
■ 良い	16.9%
■ ふつう	50.0%
□ 悪い	32.8%
□ 無回答	0.3%

(2) 前期と比べた今期の業況については、「好転」19.5% (60社)、「不変」57.1% (176社)、「悪化」22.7% (70社) となっています。



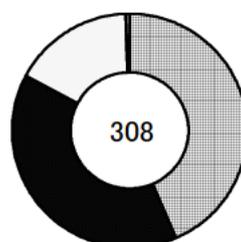
■好転	19.5%
■不変	57.1%
□悪化	22.7%
□無回答	0.6%

(3) 今期と比べた来期の業況見込みについては、「好転」16.2% (50社)、「不変」62.7% (193社)、「悪化」20.8% (64社) となっています。



□好転	16.2%
■不変	62.7%
□悪化	20.8%
□無回答	0.3%

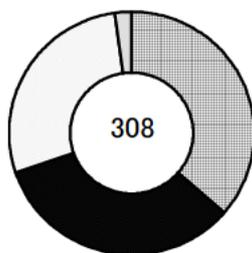
(4) 今期の利益状況については、「黒字」43.5% (134社)、「収支均衡」39.3% (121社)、「赤字」16.6% (51社) となっています。



□黒字	43.5%
■収支均衡	39.3%
□赤字	16.6%
□無回答	0.6%

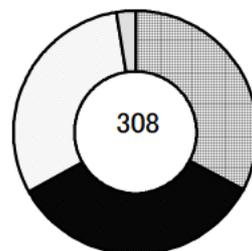
3. 売上高

(1) 売上高の前期比較については、「増加」36.4% (112社)、「不変」33.4% (103社)、「減少」27.9% (86社) となっています。



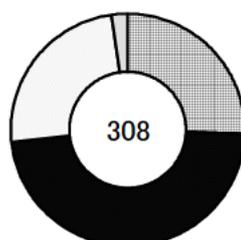
□増加	36.4%
■不変	33.4%
□減少	27.9%
□無回答	2.3%

(2) 売上高の前年同期比較については、「増加」32.8% (101社)、「不変」34.1% (105社)、「減少」30.5% (94社) となっています。



□増加	32.8%
■不変	34.1%
□減少	30.5%
□無回答	2.6%

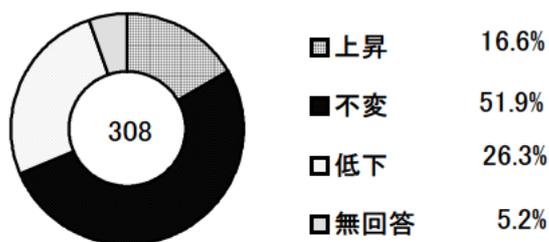
(3) 売上高の来期見込みについては、「増加」25.6% (79社)、「不変」47.7% (147社)、「減少」24.4% (75社) となっています。



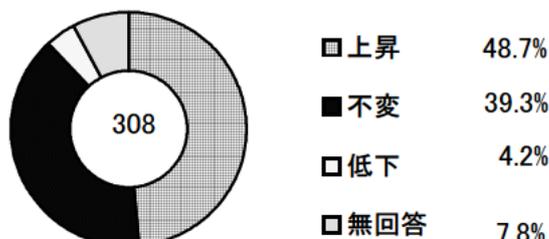
□増加	25.6%
■不変	47.7%
□減少	24.4%
□無回答	2.3%

4. 価格

(1) 今期の販売価格・受注単価については、「上昇」16.6% (51社)、「不変」51.9% (160社)、「低下」26.3% (81社) となっています。



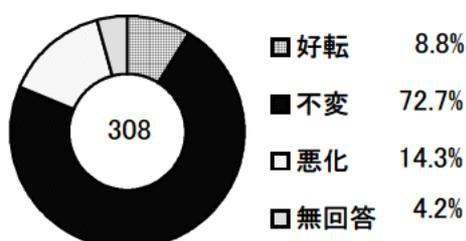
(2) 今期の仕入価格 (原材料・商品) については、「上昇」48.7% (150社)、「不変」39.3% (121社)、「低下」4.2% (13社) となっています。



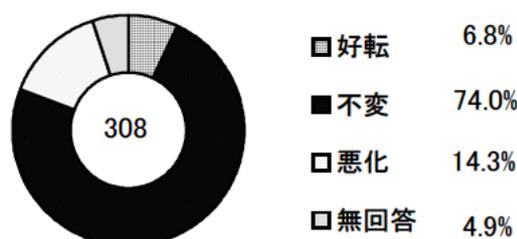
5. 資金繰り

(1)・(2) 資金繰りについては、今期が 72.7%、来期が 74.0%の企業が「不変」としており、今期は「好転」が 8.8% (27社)、「悪化」が 14.3% (44社)、来期は「好転」が 6.8% (21社)、「悪化」が 14.3% (44社) と、今期・来期とも「悪化」が「好転」を上回っています。

今期資金繰り (前期比)



来期資金繰り (今期比)

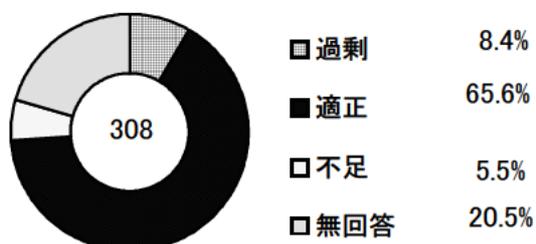


(3) 受取手形の期間は、「長期化」2.3% (7社)、「不変」74.7% (230社)、「短期化」2.6% (8社) となっています。



6. 製品 (商品)・原材料在庫

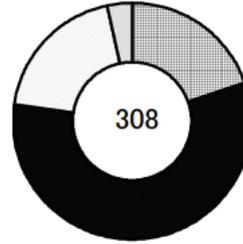
現在の製品在庫状況については、「過剰」8.4% (26社)、「適正」65.6% (202社)、「不足」5.5% (17社) となっています。



7. 設備投資意欲

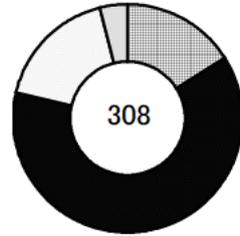
〔設備投資意欲〕

(1) 前期と比べた今期の設備投資意欲については、「上昇」19.8% (61社)、「不変」57.5% (177社)、「下降」19.5% (60社) となっています。



■ 上昇	19.8%
■ 不変	57.5%
□ 下降	19.5%
□ 無回答	3.2%

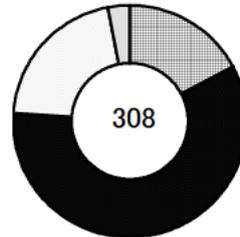
(2) 今期と比べた来期の設備投資意欲は、「上昇」16.2% (50社)、「不変」62.3% (192社)、「下降」17.5% (54社) となっています。



■ 上昇	16.2%
■ 不変	62.3%
□ 下降	17.5%
□ 無回答	3.9%

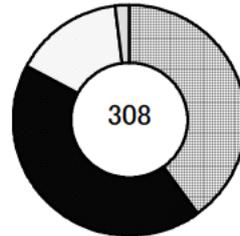
〔設備投資状況〕

(3) 平成17年度下半期 (2005年10月～2006年3月) と比べた平成18年度下半期 (2006年10月～2007年3月) の設備投資計画額は、「増加」17.2% (53社)、「不変」58.8% (181社)、「減少」21.1% (65社) となっています。



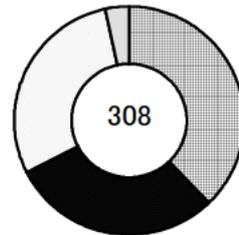
■ 増加	17.2%
■ 不変	58.8%
□ 減少	21.1%
□ 無回答	2.9%

(4) 今期の設備投資予定は、「する」39.9% (123社)、「しない」42.9% (132社)、「未定」15.3% (47社) となっています。



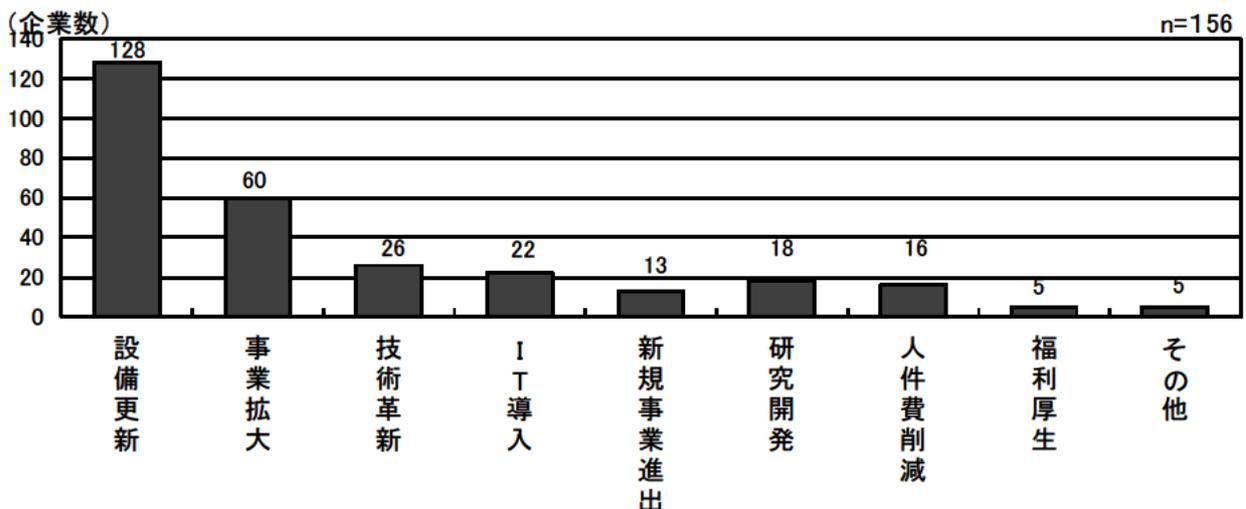
■ する	39.9%
■ しない	42.9%
□ 未定	15.3%
□ 無回答	1.9%

(5) 来期の設備投資予定は、「する」37.7% (116社)、「しない」29.9% (92社)、「未定」29.2% (90社) となっています。



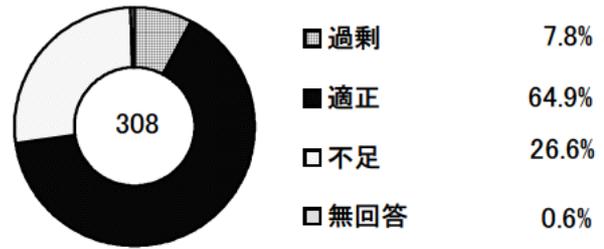
■ する	37.7%
■ しない	29.9%
□ 未定	29.2%
□ 無回答	3.2%

(6) 設備投資の主目的は、「設備更新」82.1% (128社)、「事業拡大」38.5% (60社)、「技術革新」16.7% (26社) の順となっています。(複数回答可)



8. 雇用状態

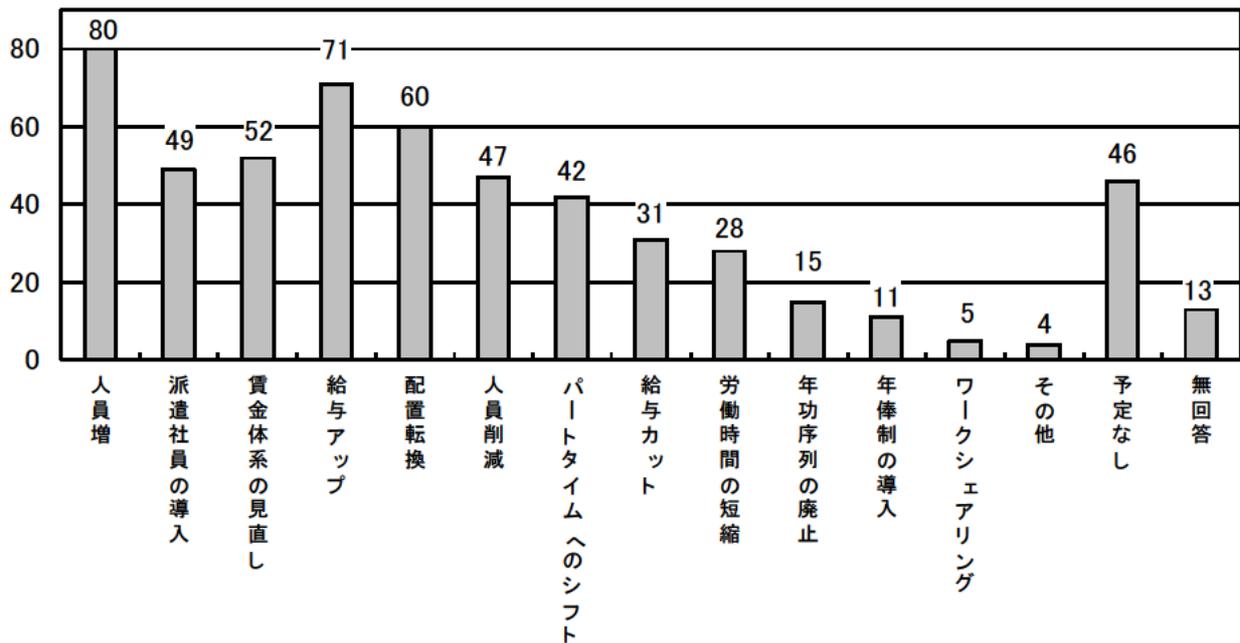
(1) 今期の雇用状態については、「過剰」7.8% (24社)、「適正」64.9% (200社)、「不足」26.6% (82社) となっています。



(2) 過去1年に行った、あるいは行う予定の雇用問題対策は、「人員増」80社 (26.0%)、「給与アップ」71社 (23.1%)、「配置転換」が60社 (19.5%) の順となっています。(複数回答可)

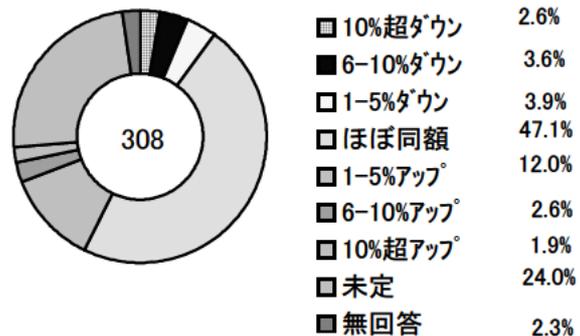
(企業数)

n=308



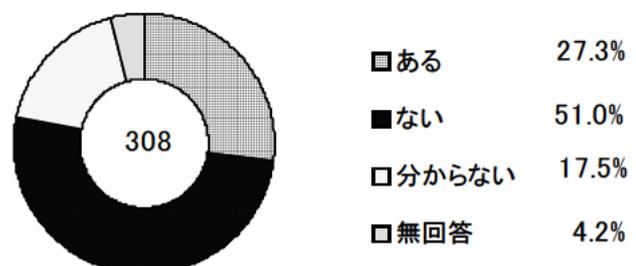
9. 冬季ボーナスの支給額

(1) 冬季ボーナスの支給見込みは、「ほぼ同額」47.1% (145社)、「1-5%程度アップ」12.0% (37社)、「1-5%程度ダウン」が3.9% (12社) となりました。前年冬季比で支給が増加する企業数が減少を上回りました。

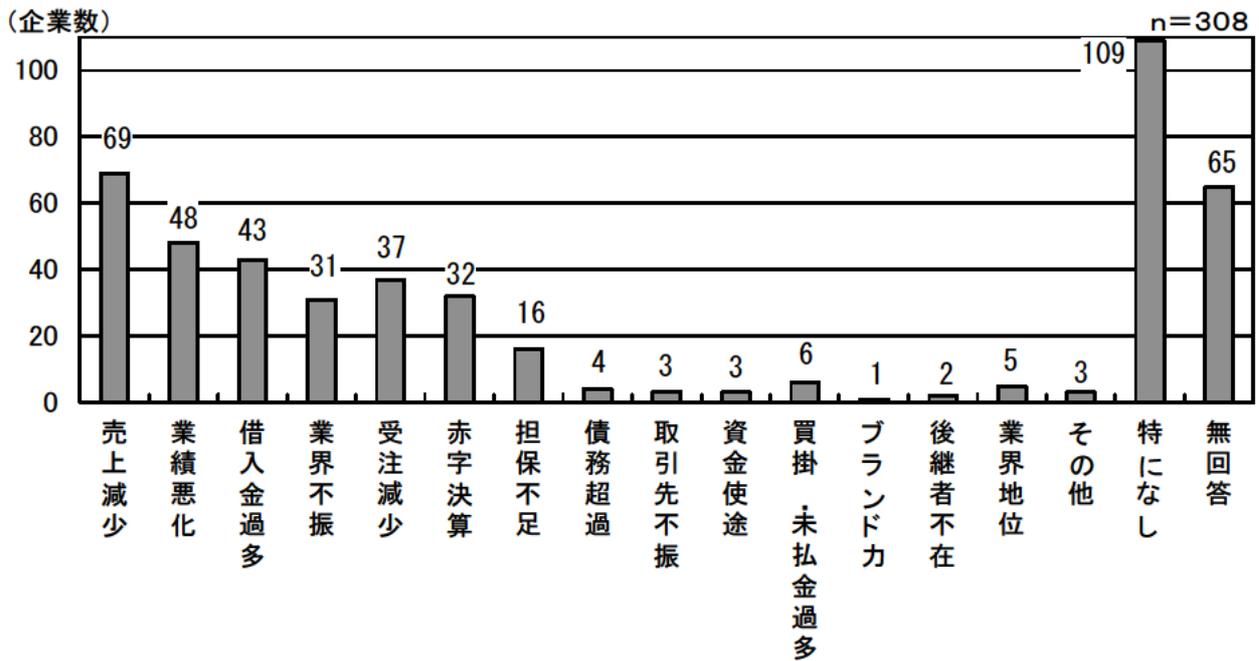


10. 資金調達

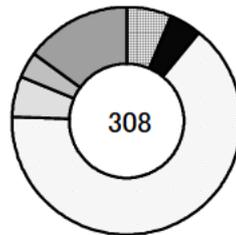
(1) 新規の借入を行う必要については、「ある」27.3% (84社)、「ない」51.0% (157社) となっています。



(2) 借入にあたっての問題については、「売上減少」69社(22.4%)、「業績悪化」48社(15.6%)、「借入金過多」43社(14.0%)の順となっています。(複数回答可)

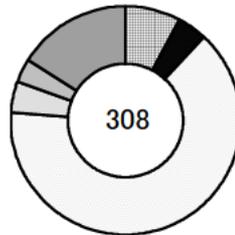


(3) 前期と比べた今期の長期資金借り入れ難度は、「容易」6.5%(20社)、「やや容易」4.2%(13社)、「不変」64.9%(200社)、「やや困難」5.8%(18社)、「困難」3.6%(11社)となっています。



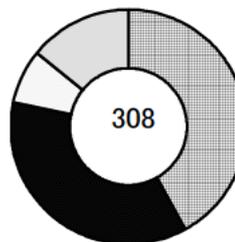
容易	6.5%
やや容易	4.2%
不変	64.9%
やや困難	5.8%
困難	3.6%
無回答	14.9%

(4) 前期と比べた今期の短期資金借り入れ難度は、「容易」7.8%(24社)、「やや容易」4.2%(13社)、「不変」64.0%(197社)、「やや困難」4.5%(14社)、「困難」3.2%(10社)となっています。



容易	7.8%
やや容易	4.2%
不変	64.0%
やや困難	4.5%
困難	3.2%
無回答	16.2%

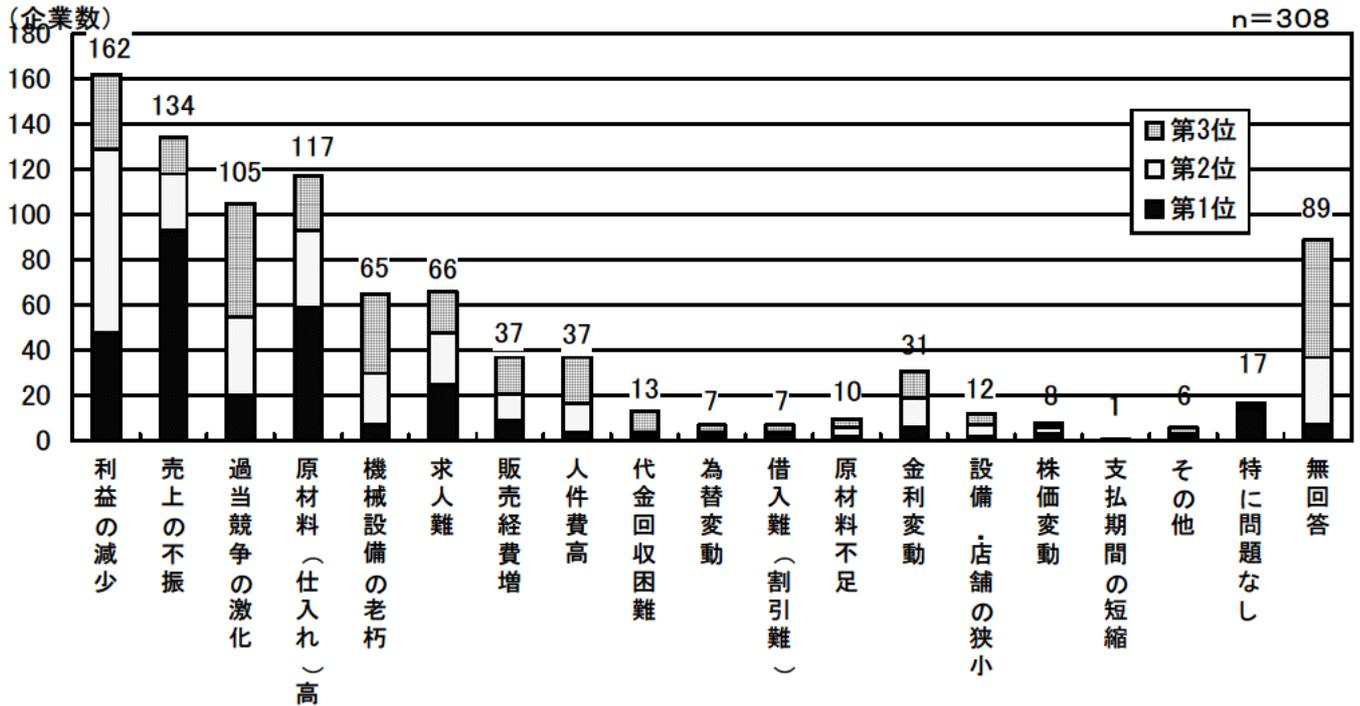
(5) 前期と比べた今期の借り入れ金利は、「上昇」41.9%(129社)、「不変」36.4%(112社)、「低下」7.5%(23社)となっています。



上昇	41.9%
不変	36.4%
低下	7.5%
無回答	14.3%

1.1. 経営上の問題

- (1) 経営上の問題点としては、「利益の減少」162社 (52.6%)、「売上の不振」134社 (43.5%) 「原材料(仕入れ)高」117社 (38.0%) の順となっています。(上位3項目選択)



- (2) 効果があると考えられる公共機関が行う企業支援策としては、「減税」191社 (62.0%)、「助成制度」100社 (32.5%)、「公共事業の増加」94社 (30.5%)、「新設の融資制度」58社 (18.8%) の順となっています。(複数回答可)

